

フィールドと
つながる
×
絵本
原画展

絵で感動!

ぬけがら

フィールドで
もっと
感動!

会期 2023 7.15 (土) ▶ 2023 9.3 (日)

※会期中休園日:毎週月曜日(7/17は開園、翌7/18は休園) ※会期等は変更になることがあります。詳細はホームページ等でご確認ください。

入園料 320円 ※高校生以下・65歳以上・障がい者とその介護者1名まで無料

開園時間 9:00~17:00 ※入園は16:00まで
※9/1(金)と9/3(日)のみ9:00~16:30

主催

国立科学博物館附属自然教育園
株式会社少年写真新聞社

お問い合わせ(自然教育園)
03-3441-7176



自然教育園HP

天然記念物及び史跡

国立科学博物館附属

自然教育園

教育管理棟1階展示スペース
(港区白金台)

ぬけがら

自然を題材とした絵本には、

「感動」と「興味」がたくさん詰まっています。
絵本を読んだあとにフィールドで本物の自然を見ると
感動はさらに深まり、興味は理解へとつながります。

虫などが脱皮により残す「ぬけがら」。本展ではユニークで
繊細なその姿を美しい絵本原画で紹介します。

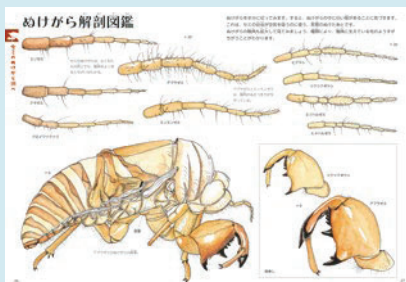
絵本が伝える自然の魅力。フィールドだから気づくこと。
その相乗効果から、自然の「おもしろさ」と「不思議」を
より感じていただけるような工夫を散りばめました。

◆フィールドとつながる絵本◆

『集めてわかる ぬけがらのなぞ』



虫などの生きものが成長するときにぬぎ捨てた「ぬけがら」を集めれば、
地域にすむ生きものの種類や生息数が調べられ、
体のつくりも観察できて、保存も簡単！そんな「ぬけがら」の魅力を紹介します。



©盛口満



©安田守

●絵と文 盛口 満(通称、ゲッチョ先生)●

緻密な絵と軽妙な文、豊富な博物学的知識で
自然のおもしろさと奥深さを万人に伝える達人！

●写真 安田 守●

長期にわたり、根気強く生きものに向き合って、
自然の不思議を丹念に記録する生きもの写真家。

『はじめて見たよ!セミのなぞ』



©新開孝

●写真と文 新開 孝●

昆虫の多様でふしぎな生態や形、生きものたちの
つながりを独自の視点で記録する昆虫写真家。

真夏に出会う「ぬけがら」といえばセミです。一生の大半を地中で送るため、
その生活は、なぞがいっぱい。そのなぞを追いかけて撮影した、求愛行動から
産卵、卵のふ化、地下の幼虫の生活などの貴重な写真を紹介します。

◆自然教育園ってどんなところ?◆



.....
大都市「東京」に残された
貴重な森林緑地
.....



四季折々にさまざまな
生きものを身近に
観察できます



●JR山手線 目黒駅東口・東急目黒線 目黒駅より徒歩9分
●東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅1番出口より徒歩7分
東京都港区白金台5-21-5